

午後 3時00分 再開

○議長（石川交三君） 再開いたします。

1番工藤政彦議員の発言を許します。1番工藤政彦議員

○1番（工藤政彦君） 午後の3番手ということで、眠くもなってきたと思いますけれども、さっさと進めていきたいというふうに思いますので、ひとつご協力のほどお願いいたします。

それでは、通告に従い、質問をしたいと思います。

質問項目1番、県道4号主要地方道能代五城目線の道路整備についてであります。

はじめに（1）番、五城目町を通る県道は、主要地方道が県道4号能代五城目線、県道15号秋田八郎潟線の2路線、一般県道の町内供用路線が県道129号杉沢上小阿仁線、県道219号三倉鼻五城目線、県道220号真坂五城目線、県道298号道村大川線の4路線、そのほかに町内未供用路線が2路線あります。このように当町を供用する県道が数あります。県道は県の管轄だから町は関係ないということでしょう、と言う人はいないと思います。そのような考えであれば、何ぼしても改良や補修は進まないと考えます。

そこで、このたびは県道4号主要地方道能代五城目線を取り上げて質問させていただくことにしました。

この県道4号主要地方道能代五城目線は、国道285号線からの接続、大手地区から黒土地区、湯ノ又地区、浅見内地区、三種町経由能代までの県道であります。最近は湯の越温泉も2年ぶりに復活をし、テレビ、新聞報道等の効果もあってか多くの利用者が訪れます。町民をはじめ県内外の方も、この県道4号線を利用します。

ところが、全線において舗装の経年劣化が進み、道路亀裂箇所が多くなっております。特に五城目町管内が穴ぼこが多く、道路が傷んでるように感じます。計画的に舗装工事を行うよう県に要望し、早期に実現を願うものです。

ここでちょっと写真撮ってありますけれども、見えるかな。見えない。

（「見えない」の声あり）

○1番（工藤政彦君） ここは小川口付近です。いずれこういう感じでこう、もうパッチング状態で間に合わないという感じなんですけれども、いずれこういうのがこう、ちょっとあれです、全線においてほとんど。

また、大手地区から浅見内地区の約6kmを一挙に舗装補修工事を実施していただ

れば大変ありがたいわけですがけれども、県は全県を相手にしているので、予算の調整が大変だと感じます。工区を設定し施工する方法もあると思うがどうでしょうか。早期に補修されることを希望するものでありますけれども、町の考えはどうかお聞きしたいと思えます。

○議長（石川交三君） 執行部の答弁を求めます。渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） 1番工藤議員のご質問にお答えいたします。

県に舗装補修、舗装改修工事の件について伺ったところ、道路状況は十分に把握しており、予算要求をしたところでありました。しかしながら、議員がおっしゃるとおり全県規模の補修予算でありまして、今年度の予算確保には至りませんでした。今後も予算確保に鋭意努めていくとのことでありましたので、町も県道整備促進期成同盟会のみならず破損状況を報告し、要望活動を継続してまいりたいと存じます。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1番工藤議員

○1番（工藤政彦君） 県道とは県が管理を行っている道路のことで、道路法第7条の中で定義づけられており、その県において幹線道路網で条件を満たす道路を県知事が議会の議決を経て認定するものであります。主要地方道は日本における道路の分類の一つで、道路法第56条の規定により国土交通大臣が指定する主要な都道府県または市道であります。高速自動車国道や一般国道と一体となって広域交流を担うという位置づけから、2つ以上の自治体を経由する幹線道路として位置づけられており、整備や維持管理に要する費用の50%まで、国が補助をすることができるとあります。つまり主要地方道は、その地方において要となっている重要な道路であります。どうかこのことをしっかり認識し、早期に道路整備を願うものであります。黙ってたって進まないと思えます。どんどんうるさいだけ県のほうに要望して、同盟会もありますし、頑張っていただきたいというふうに思えます。

続いて（2）番の質問ですが、浅見内地区の車道区域に電柱数本が現存し、車両通行に支障を来しているものであります。早期の移設を希望するものであります。

これも写真撮ってあります。見えるすか。こっち車道です。だいたい中さ来てるったすものな。で、坂の途中にあるものがありますし、大体五、六本ぐらいなんだけれども、それでもやっぱり道路、車で行けばですね、交差できねえから止まんねえばいけねえんだすもの。で、坂道で止まんないけねえという状態になるので、まあ大変だという、

冬なんか特に大変だという感じです。

まず写真見ても分かったと思いますけれども、まず1 mぐらいだと思っけれども、いづれまず冬期間中であれば今言ったとおり坂にあるために接触事故もあつたりとか、本当に危険な状態でありますので、ぜひ早期の希望をするものです。町の考えをお聞きしたいと思います。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

道路敷地内に設置されている電柱・電話柱などは、設置者が管理しております。県道管理者の秋田県が移転申請するには、道路敷地外の用地確保が必要でありますので、現地を確認し、隣接する民家の方々の同意が得られるかを確認したいと思います。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1 番工藤議員

○1 番（工藤政彦君） その件については私も十分承知です。で、まず官地から民地へと移設になれば、当然、私有地、隣接する方になりますので、それに対する交渉等ということが大変だと思います、確かに。しかし、まず町内会としても協力しながら進めていきたいという考えでおりますので、ここら辺よろしくお願ひしたいなというふうに思っています。

ただ、県だけで動いたりとかしても、そう簡単にはいかないと思うので、町内会の総会の中にもちょっとこういう話が上がりましたので、一緒に動く気持ちでいますので、ひとつ協力しながら頑張っていければというふうに思っていますので、よろしくお願ひいたします。

さて、次になります、（3）番、浅見内地区の「湯の越温泉」入口付近の車道の拡幅と狭隘カーブの緩和を早急に改良希望するものであります。湯ノ又町内会を過ぎ、旧内川小学校付近から今回要望する湯の越温泉入口付近、登り坂付近までは、道路の拡幅がされているものですが、浅見内町内に入り始めるこのあたりから道路が狭く、見通しの悪いカーブが始まっていきます。で、ここら付近で大型車両と鉢合わせになると、車両間の交差に非常に危険な状態、状況にあります。特に冬期間は、大変な状態となるケースが多いものであります。また、最近では湯の越温泉へ来られる方も多くなり、そして、「みせっこあさみない」へお客が流れていくケースが見られるようになりました。もちろん能代方面からの車両も多くなってきておりますし、まさに主要地方道の目

的を為す県道であります。

まずは、この浅見内地区入口付近の道路拡幅と狭隘なカーブの緩和に着手していただきたく、一気にやるってば大変だと思うので、そして徐々に浅見内地区内の改良が必要な箇所を整備していく計画で進めてもらいたいと思いますけれども、町の考えを伺いたいと思います。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

湯の越温泉入口付近の車道拡幅と狭隘カーブの整備につきましては、令和3年12月6日付けで浅見内町内会から町へ要望書の提出があり、町は県へ令和3年12月10日に要望の進達を行いました。県からは、令和3年度から能代五城目線湯ノ又黒土間の三千刈工区に事業着手していることと、整備の緊急性や優先度などを考慮しながら事業を推進しており、当該要望箇所も現地状況を確認し、事業の実施時期や範囲などを検討するとの回答をいただき、浅見内町内会へはその旨を伝達しております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1番工藤議員

○1番（工藤政彦君） 分かりました。まずひとつよろしくお願ひしたいというふうに思っています。

（4）番の質問に入ります。県道4号主要地方道能代五城目線は、県道整備促進期成同盟会の要望で、狭隘なカーブの緩和や歩道の設置、黒土地区はやっていただいております。それから道路拡幅などが、少しずつではありますけれども整備されてきております。

しかし、湯ノ又公民館付近の拡幅改良工事、橋梁整備工事、それから浅見内札ノ前地内の橋梁整備工事などが進んでいない。何で進まないのかなというふうに思ってますけれども、工事的にお金がかかり過ぎるのかとか、いろんな用地関係とかあるのかなとも思ったりもしてますけれども、もしかしてバイパス案があるのかなと。バイパス案があるためにその整備に着手することができないでいるのかなと、ちょっと思ったりしました。で、そのような県の方針というのはあるのかどうか、お願いします。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

能代五城目線に係る要望書などは、五城目町・八郎潟町県道整備促進期成同盟会

を通じまして伝達し、その成果を見ております。また、令和3年度からは、同路線の三千刈工区で車両の走行性と道路排水の向上のための改良事業が始まり、今年度は、秋口から用地測量と用地買収、支障物件移転を予定しておりまして、令和6年度の工事完成を目指すとのことであります。したがいまして、湯ノ又公民館付近の拡幅改良工事につきましては、同工区の完了を待って整備要望をしてまいりたいと思っております。

また、浅見内札ノ前地内の家の沢橋橋梁整備は、今年度、上部工架け替え工事を実施するために7月以降に入札公告をし、発注予定とのことであります。

なお、当該路線のバイパス案については、現時点ではないものと伺っております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1番工藤議員

○1番（工藤政彦君） 私も、まあ私見でありますけれども、バイパス案については賛成する考えは今はありません。で、今日まで少しずつであります、道路の拡幅改良、狭隘なカーブの緩和などを進めてきております。これをバイパスを通すことで無駄になってしまうということや、町内会が置き去りになるような寂しさが未来に見えます、やっぱり。拡幅等で用地交渉などが大変だと思いますけれども、それはもちろん町内会も協力するであろうし、内川地区町内会会長会でも再三要望をしてこられているものであります。必要ならば私たちも動きますし、町と一緒に、この県道4号主要地方道能代五城目線を国道に格上げするぐらいの気持ちで、国・県へ要望していきたいと考えておりますので、よろしく願いして次の質問へ移ります。

質問第2番、火の見櫓の老朽化に伴う危険性についてです。

全町に火の見櫓は何基設置されているか、まず教えてください。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

全町に火の見櫓として設置されたものは、現在24基ございます。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1番工藤議員

○1番（工藤政彦君） 時代の移り変わりにより、火の見櫓は、その役割、機能を終えていると思いますが、老朽化による倒壊の恐れのあるものはないのか。あるとしたら、年次計画を組み、撤去の必要があると思いますけれども、どうでしょうか。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

現在は全て消防ホース乾燥塔として使用しておりますが、その多くは老朽化が進んでいる状態にありまして、その中でも特に錆や腐食が目立ち、補修も困難と考えられる16基分につきましては、令和4年度から4基ずつ、4年間で、4か年で撤去する計画としております。老朽化が進んでいる残りの分につきましても、その必要性を含め検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1番工藤議員

○1番（工藤政彦君） 16基がちょっと危ないということで、4年がかりでやっていくという話で承りました。分かりました。

で、各種警報等の発信は、防災行政無線のスピーカーから行われるようになりましたし、火の見櫓の高さを利用して消防団で使用したホースの乾燥など、今言われたように使われているようですけれども、櫓自体の老朽化や耐震安全性の問題から使用を停止したり、撤去されているというふうな話も全国的にあるようです。で、まあウインチ、ウインチって、ぐっと機械で上げるのかな、それを用いたホース乾燥塔が代わりに設置されてるというケースも多いと聞きます。いずれそういうような形にこう変えていくようになるのかなというふうに思います。火の見櫓が倒れたり、大変なことにならないように万全な方法の処置を願いたいと思いますし、4年計画でやっていくということでしたので、ひとつよろしくお願ひしたいというふうに思います。

続きまして、質問項目の3番です。土砂災害特別警戒区域への対応についてであります。

（1）番、五城目町には、「土砂災害特別警戒区域」のうち、著しい危険が生じる恐れのある区域、いわゆるレッドゾーン箇所ですけれども、何箇所あるか、まず教えてください。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

本町における土砂災害警戒区域、イエローゾーンは、全部で139か所となっております。このうち120か所が土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンであります。含んでおります。

これらの区域の指定につきましては、土砂災害防止法に基づき秋田県が実施した基礎

調査の結果を踏まえて、秋田県が指定したものであり、土砂災害が発生した場合に住民などの生命・身体に危害が生ずる恐れがあると認められた区域を土砂災害警戒区域、イエローゾーンに、その中で特に建築物に損壊が生じ、住民などの生命または身体に著しい危害が生ずる恐れのあると認められる区域につきましては、土砂災害特別警戒区域、レッドゾーンに指定されております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1 番工藤議員

○1 番（工藤政彦君） 町長から答弁もらう前に、一つ抜かしてしまいました。例えばという話するところでしたけれども、ここちょっと聞いてください。

例えば、湯の越温泉を含む土砂災害特別警戒区域、温泉の復活により入湯客が多くなっています。私もクラウドファンディングで温泉復活のために10万円を支援したわけですけれども、本当に入湯客が多くなっています。おかげさまで、県道4号主要地方道能代五城目線の交通量もだいぶ多くなりました。で、この箇所は、湯の越温泉からグループホーム湯の越の家、またデイサービスセンターとして、住宅地への範囲、広範囲にわたっているレッドゾーン区域であります。

これちょっと写真見てもらいたいんだけど、まず私言うのは、この、見えるすべ。これ県で出してやつだけども、これ湯の越山です。200mぐらい標高あるわけだけども、これずっと下までレッドゾーンなんです。非常に危険な状態です。湯の越温泉もですけれども、そっちのほうがまた・・・これ、ここ、これも施設が建つところなんですけれども、かなり危ないという感じです。で、さっき見せたところ、温泉に入っても、私も温泉に行くわけだけども、温泉に入ってもすごくこう、昔、あの何だっけか、採石場だったもんだから、やっぱり確かに岩盤なんだけれども、だいぶ風化してきてるんだすものね。だからあそこを、私としては一つ的手段として、崩落の地滑りを防ぐための手段として、町の考えを聞きたいわけなんですけれども、聞きたかったわけですけれども、今、松がこう植えられているんですよ。で、松は根が深く張るということで、がけ崩れも防ぐと言われているようです。で、やっぱりその、私もその集落に住んでるわけだけども、これ湯の越山なんだすよ。ここなんだすな。これ一気にどかって来る、行っちゃったもの。非常に、まあ120か所もあるという、レッドゾーンあると言うけれども、これ民家があってレッドゾーンになってるところっていうのもあるにはあるんだすけれども、まずは標高200mということとすごく急斜面なんだすよ。で、や

っぱりかなり危険だなというふうに感じます。で、まずそのいつ何時どういう災害が起きるか分からないので、まず未曾有の災害、震度6強の地震など、警戒する必要があると思いますけれども、ここの答弁ってありますか。じゃあお願いします。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

土砂災害特別警戒区域などにつきましては、土砂災害防止法及び地域防災計画に基づき、土砂災害に関する情報の収集・伝達、警報の発令及び伝達、避難・救助などの警戒避難体制の整備のほか、要配慮者利用施設における警戒避難体制の整備、ハザードマップによる周知徹底などの対策を講じているところでございます。

保安林の指定申請につきましては、農林水産大臣が指定する重要流域内は、秋田県では雄物川並びに子吉川の流域のみであり、五城目町は重要流域外として属していることから、県知事が保安林の指定を行うこととなります。申請には、森林であって所有者の同意などが必要となりますが、土砂崩壊の防備に係る特定公益的機能の達成を目的に町が県知事に指定申請することができるものとなっております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1番工藤議員

○1番（工藤政彦君） いずれその松の根っこで、湯の越山のその斜面ですけれども、覆われているという安心感はあるんですよ。これを伐採されれば、個人の土地なので、木など伐採されると大変、あと根が腐ってしまえば当然その流れてくると思うんだすよね。だから今言われたようなその保安林の指定っていうんですか、そういうのをぜひやってもらいたいなというふうに思ってますので、よろしくお願ひしたいと思います。

町では、法律に基づいて、令和3年4月の広報紙と一緒に五城目町の防災マップ、全戸に配付されており、津波、洪水、土砂災害箇所が掲載されておりますし、さらにウェブ版のハザードマップも公開するなどしております。で、町への周知をしっかりとさせていただきたいということでありまして、大変いいなというふうに思ってます。まずは、自宅の場所がこれらの危険な場所に該当していないか確認をお願いしますということだとは思いますが、このレッドゾーンは、さっきも町長も言われたように特に危険な区域であって、建物に危害が生じて、ここ、人命の、住民の生命というところがやっぱり一番怖いところで、著しく害が生じている恐れがある区域だということなんですけれども、実はこの防災マップの中にこの人命、住民の生命または身体に著しく危害が生ず

る恐れのある区域っていうのをこう明記してないんだすよね。やっぱり、たぶん心配するかということだとは思いますが、いずれそういう箇所ですので、いずれ何が起きるか、想定外の災害って最近よく聞きますので、ぜひ早急に対応願えればなというふうに、町でできるその安全策っていうんですかね、そっから立ち退けとかでなくして、崩れるまで待ってれではなくて、せっかくのそういうふうな木があるし、切られては大変なことになるということですので、再三言ってますけれども、ひとつお願いしたいなというふうに思います。

次に、最後の質問になりますけれども、質問項目の4番です。街並みの景観についてであります。

五城目町には、京都のような景観条例というものはありませんけれども、街路樹であったり、街灯であったりと、樹木の種類や灯具の選定等について、どうでもいいということは誰も考えていないと私は思います。街路樹においては「五城目町街路樹管理計画策定委員会」というのがあって協議を重ねて、よりよい計画の策定を目指すとあります。最近思うに、県道15号主要地方道秋田八郎潟線、町中を通る中央線ですけども、この街路灯の電球の取り替え、オレンジ色の暖色系の電球からホワイトの電球に変更を実施すると3月定例会の町長の施政説明で分かりました。で、照度の関係から変更すると言われていましたが、雨が降ったら、舗装道路も歩道も黒っぽく暗い感じになります。雪道であれば、そのホワイトの電球になれば、銀白色に照らされ、非常に冷たい感じを受けます。

写真撮ってあります。実は研修の時に帰りに、最終の飛行機で帰ってきたので、滋賀県から議員研修の帰りでしたけども、夜10時頃になったので、わざわざうちから来て写真撮るよりも、ここの日にちに合わせて、天気も良かったし、10時頃でした。写真撮りました。ちょっと見てください。実は水銀灯の写真も撮ってあります。これ上町、ちょっと寂しい感じ。で、これ下夕町です。町長のところ。やっぱり寂しい感じなんですよね。銀ってやっぱり。で、これ要するに中央線だす。やっぱり穏やかな暖かみがあります。

暖色系の今までのオレンジの電球は、暖かい感じもあって、心もやっぱり和みます。で、照度的にもそんなに変わらないというふうに思いますし、たぶんそうだと思うんだすよ、照度的にも。だって高速道路とかにそれ使ってるんだもの、やっぱり。はっきり逆に見えるとかっていうことで。北海道あたりなんかは、その暖色だっていうことで雪

国は特にそれを選んでもらうんですよ。わざわざそれなんでやめるんだと思うんだも。で、やっぱりあそこはこの灯具もつり下げ型だすよね、つり下げ型でこうなってるし、オレンジの電球が適切だというふうに私は思うんですよ。で、LEDに変えるんだと思うけれども、LEDでも暖色系の電球はあると聞いてます。で、五城目に行けば、あの立派なケヤキ、街路樹だすよね。中央線のオレンジの街灯はいいなという声もやっぱり聞くんですよ。せっかくの五城目らしさだと思っていますので、その五城目らしい景観がなくなっていくような気がして、すごくこう感じているわけなんです。そこを町の考えを聞きたいです。お願いします。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

昨年度、馬城橋の照明灯を先行して白色LED化にしております。今回のLED化は、歩行者から暗いとのこと指摘があったことから昼白色のLED球に更新するものであり、ご提言のありましたオレンジ色のLED球につきましては、人の視覚により同じワット数であっても暗く感じられると製造メーカーからは伺っております。しかしながら、今までの中央線のイメージを保ちつつ、照度を高めることができないかを検討するため、馬城橋の白色LED球を6月から試験的にオレンジ色のLED球に交換し、明るさの確認をしてるところでございます。

今後、近隣町内会からのご意見を参考に、白色あるいはオレンジ色のLED球のどちらかにしたいとそう思いますが、いずれにいたしましても歩行者の安全・安心と沿道の防犯を優先的に考えてまいりたいと存じます。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 1番工藤議員

○1番（工藤政彦君） 検討していただけるということで大変ありがたいというふうに思ってます。

一般に道路照明の目的は、交通の安全、事故の防止、保安、風紀の維持などですけれども、車道の照明としては、夜の走行でも路上の物体がよく見えるように保たれることが必要だとやっぱり思います。で、オレンジ色のナトリウム灯はこの目的によく合っているとわかってるんですよ、これもまた。言ってることあるんだす、ちゃんと言ってるんだすものな。で、また道路の照明には、そのナトリウム灯には、オレンジ色ですけれども、夜行性の昆虫が群がり寄る心配がないということなんです。で、昆虫は特に

その紫外線に反応して、黄色の光の波長域に感応しない、余りこう近寄らないということなんだですよ、黄色のところには。もちろんコロナが収束して、コロナが落ち着けば、また盆踊りもそこでやるんだと思うけれども、やっぱり虫も寄らないというものもあるんだですよ。で、まあ黄色の単色灯だけを出すナトリウム灯には、昆虫が近づかないということ。で、この特徴も道路照明にナトリウム灯が利用されてるということなようです、やっぱり。で、オレンジ色の街灯は高圧ナトリウムの色なんだけれども、従来の水銀灯と比べれば同じ消費電力で2倍の明るさ。水銀灯よりやっぱり電気代余計かかんねえっていうか、同じその消費電力でも2倍の明るさになると言われてるんだですよ。で、確かにその今言われてるLED、寿命はもうLEDにはかなわないというふうに思います。まあオレンジ色の温かい光は、こうロマンチックな話になりますけれども、傷ついた心に勇気を与えるパワーがあると書いてありました。不安や恐怖、プレッシャーに押しつぶされない、されそうな時、オレンジの効果を取り入れるという、心のバランスを保つことができるというふうに、ある記事がありました。やっぱりなど。現在の中央線を通る時に何となく心が和むわけですけども、私も研修から帰ってきて写真撮ってきた時に、ああ、五城目さ帰ってきたなど、心がこう落ち着いたわけですけども、やっぱりいいなど。わざわざそこを白くしねくたって、中央線だけでもきれいな色で街並みぱつとあれば、街路樹もあのおりけヤキもありますし、余計に混んでれば途中こう木切っているわけだけでも、いい感じになってるんじゃないかなというふうに思います。だからせっかくのその五城目らしさを消してもらいたくないなというふうに思ってますので、まあよろしくお願ひしたいなというふうに思います。

何だかんだ私言ってますけれども、これ予算でも決まってることですし、やることになってるというように感じます。で、まず試験的にやってくれるということでしたし、できればそのLEDのオレンジ色のLEDは私も諦めてませんので、ひとつよろしくお願ひしたいなというふうに思います。

で、何だかんだこう話してますけれども、私が言いたいのは、そのまちづくりに対する細やかな気配り、その姿勢というのが大切であることを伝えたいわけですよ。以前に一般質問させていただいてますけども、矢田津世子の文学碑がある付近の十字路の石畳について話しております。その後の補修においても、破損して剥がれてしまった石畳について、ただアスファルトを詰めておしまいになっている。私、職員時代は毎日のように町に出てきてましたけれども、今はやっぱり浅見内の地区から出てくるってばめったに

来ないので、やっぱり今回こういうふうな話も一般質問させてもらうということで、やっぱりまた見に来てみました。アスファルトを詰めて終わってるんですよ。で、まず結果的に、せっかくの石畳なんですよ、きれいなんですもの。それが黒いアスファルトでポツポツと。きたねえってばごしゃかれるども、余りいい状態でないんですよね。だからまあ人の顔にたとえれば怒られるから言いませんけれども、きれいに化粧しててもらいたいんですよ。きれいにやっぱり。ちゃんと石畳なら石畳張って、そこの部分こうできるすべ、あれやる気っていうか、やれば。だからきっちりしてもらいたいんですよ。要するに、その細かいことなただけけれども、その街並みのそのいい景観につながっていくためには、やっぱりそういう気持ちっていうか、心のこもったまちづくりの景観っていうのかな、それを行ってってもらいたいんですよな。だから何やるにしてもちょっとしたことでも、さっきいろいろ議員さん方それぞれ質問したんだけど、やっぱり町のやる気の姿勢だと思うんですよな。そこをぜひみんなで、庁議もあるし、みんなで話し合って、町長も普段に言ってるように、口癖のように言ってますけれども、各課の垣根を越えてみんなで話し合って、みんなでいい意見を出し合ってまちづくりをしていてもらいたいと思うんですよ。やってるかとは思いますが、やっぱりちょっとそういうような細かいところとか、「これだばいいでは」とか、そういうなのも確かに自分も現役の時にあったような感じはします。それを反省しながら言ってますので、ひとつよろしくお願ひしたいというふうに思いまして私の一般質問とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（石川交三君） 1 番工藤政彦議員の一般質問は終了いたしました。

議場内換気のため、10 分間休憩いたします。再開は午後 4 時といたします。

午後 3 時 4 9 分 休憩

.....